

2004

10/1

NO.876 毎月1日発行

小田原

まちづくり情報誌



もう一度見直そう
私たちの生活!!



非常事態、小田原のごみ処理

もう一度見直そう 私たちの生活!!

この機会にもう一度、
「ごみ」について
見つめなおしてみませんか?



皆さんが、日常出すごみ。
毎年その量は増え続け、
平成9年の分別改革以前の量に戻りつつあります。
そして、ごみを焼却した後の灰は、市の埋立処分場で処分できずに
県外の市町村にお願いし、埋め立てています。
その処理費もかなり膨大に…!
果たしてこのままでよいのでしょうか?
このまま環境に負荷をかけ続けたとき、
子どもたちの将来には何が待っているのでしょうか。

問環境総務課 ☎33-1471

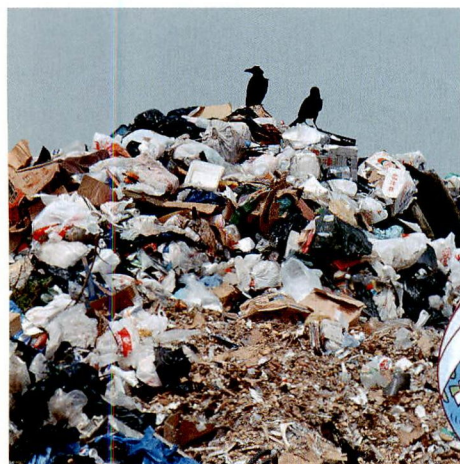
小田原のごみ処理の現状

現在、市内で年間約8万5千トン(横浜スタジアム1杯分)のごみが発生し、その処理に年間約30億円の費用がかかっています。

また、ごみを焼却した後の灰の処分は、市の埋立処分場がほぼ満杯であることから、年間約8,700トンの焼却灰を県外の自治体をお願いして処分しています。

新たな処分場を造るためには、市民の皆さんのご理解とご協力が必要であるとともに、約40億円の建設費が必要となります。

さらに、ごみを処理する過程でエネルギーを消費し、二酸化炭素が排出されます。これらは地球温暖化の原因となっています。



ちよつとした工夫で「ごみダイエット」

市では、現在、幸地区、酒匂・小八幡地区の皆さんと一緒に新たな分別モデル事業に取り組んでいます。その内容は…

①生ごみの水切り

生ごみの水切りが簡単にできる道具を使って、ごみ減量にチャレンジ！



②紙類の徹底分別

メモ紙などの小さな紙も紙袋に入れ、徹底的に分別！



③廃食用油の分別

天ぷら油をペットボトルに入れて分別排出！



これらの取組みで目標の10%減量を達成するぞー！

幸地区、酒匂・小八幡地区の皆さんへ
モデル事業のご協力ありがとうございます！

小田原の水は安全です!!

小田原水道局浄水課 ☎411245

現在販売を中止しているちよつちん型ペットボトル「旅名水」(3次販売分)には、第一水源(清水新田)の深井戸から汲み上げた水を使用していましたが、

ます。しかし、まだ開始してまもないため、分別が徹底されていないところが見受けられます。分別の徹底にご協力くださるようお願いいたします。

「その他紙」の中に入れてはいけない物

●ティッシュペーパー ●汚れた紙

●紙以外のもの

食用油は、必ずペツ

トボトルに入れてく

ださい。容易にフタが開いてしまう容器には入れないでください。



ダメな例

そのほかの地区の皆さんへ

モデル事業の取組みは、課題や成果をふまえた上で、来年度から全市一斉の取組みへ拡大していく予定です。より一層のご協力をお願いします。

なお、現状の分別で徹底されていないところもありますので、しっかりと分別しましょう。



●包装フィルムやビニール袋などプラマークのついているものは、「燃せるごみ」ではなく、「トレー・プラスチック容器」で出しましょう！

●ペットボトルは「燃せるごみ」ではなく、「ペットボトル」で出ししましょう！

●ペットボトルのキャップは、必ず外して「トレー・プラスチック容器」で出してください！

原水の水質検査においては安全が確認されています。

皆さんに供給しているすべての水道水は、水道法で定める水質基準に常に適合していますので、安心してお飲みいただけます。また、水道局で販売しています「水のきらめき」(缶詰、ペットボトル)も同様に安全です。

エコライフフェア2004秋

3Rを推進するための、市民によるフリーマーケットを中心としたイベントです。城址公園内に200店以上が出店する県西地域最大規模のフリーマーケットです。ぜひご来場ください。

日時 10月17日①10:00~16:00

雨天中止

場所 小田原城址公園

※駐車場はありません。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

環境にやさしい買い物キャンペーン

このキャンペーンは10月の1ヶ月間、商店街などの店舗が参加して、私達の生活の中で一番身近な「買い物」を通して、環境問題について考え、環境にやさしいライフスタイルへ変えていくことを呼びかけるもので、県と連携して、実施します。

環境に配慮した商品の販売など、各店舗でいろいろな取組みを行っています。買い物を通じてライフスタイルを見直しましょう。

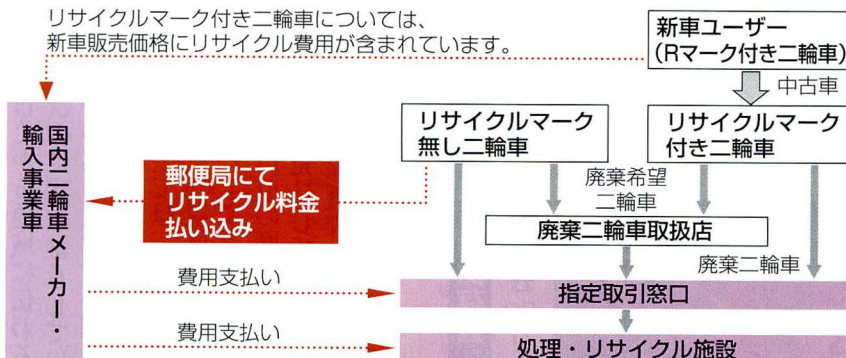
10月は3R推進月間です

リデュース (Reduce:物を大切に使う、ごみを減らす)
リユース (Reuse:繰り返し使う)
リサイクル (Recycle:再び資源として利用しよう)

に取り組みしましょう

リサイクル手続きの流れ

リサイクルマーク付き二輪車については、新車販売価格にリサイクル費用が含まれています。



※廃棄二輪車取扱店へお持ち込みの場合、リサイクル料金のほかに収集・運搬料金が別途必要となります。

地域に伝わる民俗芸能を 継承していきます

小田原民俗芸能保存協会 後継者育成発表会

日時 10月17日(日) 開演12時30分(開場12時) 場所 中央公民館ホール

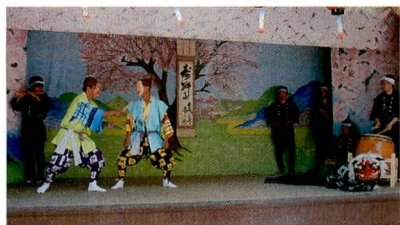
小田原市教育委員会では、古くから地域に伝わる民俗芸能の保護、育成を図り、次の世代に継承していくための施策を行っていますが、そのつととして、小田原民俗芸能保存協会の後継者育成事業を支援しています。この度、小田原民俗芸能保存協会では、後継者育成事業として、若手後継者の日ごろの練習成果を発表する「後継者育成発表会」を開催いたします。入場は無料です。芸術の秋、小田原の歴史と伝統に裏付けられた民俗芸能の魅力を再発見してください。

文化財保護課 33-1717

曾我別所獅子舞保存会

代表 神尾和由 42-0318

江戸時代から伝わる「獅子獅子舞」の系統で西湘地区では曾我別所だけに伝わる貴重な芸能です。現在は5つの組ごとに活動を行っておりますが、今回は後継者の発表会ということで、平成14年に結成された、もっとも新しい5組による獅子舞をご覧ください。



小田原ちようちん踊保存会

代表 秋山定之 74-4651

童謡「お猿のかごや」で知られる小田原ちようちんを守り広めるため考案された郷土芸能です。暗い夜道を急ぐ旅人を表現して小走りの部分を取入れたりしています。が、小さな子どもでもすぐに覚えられようやさしい踊りです。



小田原獅子多古保存会

代表 下田誠一 34-2820

多古白山神社に伝わる小田原獅子は江戸葛西獅子系統のもので、江戸との文化交流が盛んであった小田原には早くから伝わっていたようです。当時寺町にあった歌舞伎小屋「桐座」の獅子方から多古の若者が習い覚えたものだといわれています。昭和44年県指定無形民俗文化財、昭和52年かながわ民俗芸能五十選



栢山田植歌保存会

代表 日比野幸子 36-4878

大正、昭和初期に栢山一帯では6月中旬に田植が行われていました。栢山田植歌はいつの頃からか田植の際に農家の女性たちが田植の調子を取るために歌ったものです。歌詞には農作業の様子や鶴、亀などめでたい動物が詠み込まれており、豊作への祈りが込められています。



根府川寺山神社鹿島踊保存会

代表 宮川俊一 29-0660

福おどりは根府川の道祖神祭で子どもたちにより踊られています。子どもたちが主役のお祭り、昭和20年ごろまでは盛大に行われてきました。一時中断していましたが復活し、現在は小学校5、6年生の男女により1月14日のどんど焼きに踊られています。



小田原市山王原大漁木遣唄保存会

代表 末弘勝 34-0413

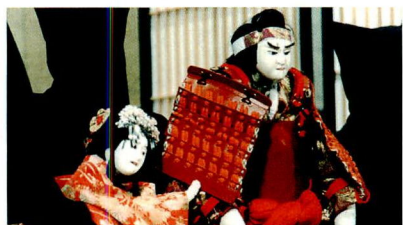
大漁木遣唄は相模湾・帯の漁民に古くから歌われていました。漁業に従事するときの仕事唄と婚礼、神社祭礼時の儀式唄を兼ねている例として全国的にもめずらしいものです。現在、山王原地区では山王神社の祭礼で歌われています。



相模人形芝居下中座

代表 岸忠義 43-0956

江戸時代、関西から人形遣いの一行が興業の途中に下中村に伝えたのがはじまり。天保の改革(1842)の諸芸禁止により中断しましたが、幕府の目を逃れて横穴古墳の中で稽古したと伝えられています。大阪の文楽と同じく三人遣いの特徴としています。昭和55年国指定重要無形民俗文化財



小田原市 総合計画審議会を設置



総合計画「ビジョン21おだわら」後期基本計画（計画期間：平成17年度～平成22年度）の審議が始まります。

企画政策課 ☎33-1405

「ビジョン21おだわら」後期基本計画の策定にあたっては、昨年7月に公募市民106人からなる「ビジョン21おだわら」市民提言会議を設置したほか、パブリックコメントを実施するなど、市民参加による計画づくりを進めてきました。

こうした取り組みを経て策定した後期基本計画案を、さらに市議会議員や各種団体の代表者、学識経験者の20人のかたがたからなる総合計画審議会で

ご審議いただき、計画の内容をより高めていこうというものです。

去る8月31日に第1回会議を開催し、委員委嘱を行うとともに、会長に今村市議会議員、副会長に富川自治会総連合会長を選出しました。今後、10回程度の会議を経て来年2月に答申を行う予定です。

なお、会議は原則として公開となっています。会議日程は今後、広報おだわらでお知らせします。

総合計画審議会委員（敬称略）

区分	氏名	所属団体等
会長	今村洋一	市議会議員
副会長	富川正秀	小田原市自治会総連合会長
委員	青木 淳一	神奈川県立生命の星・地球博物館館長
	新井恵美子	エッセイスト
	飯山茂雄	市議会議員
	井上久嘉	小田原商工会議所副会頭
	井原義雄	市議会議員
	加藤仁美	東海大学工学部教授
	小瀬村武二	小田原市老人クラブ連合会会長
	小館静枝	小田原女子短期大学学長
	小林俊夫	市議会議員
	下村英之	市議会議員
	竹井京二	小田原・足柄地域連合議長代行
	田中利恵子	市議会議員
	橋本輝夫	小田原市子ども会連絡協議会会長
	福田 順子	城西国際大学経営情報学部教授
	一寸木正直	小田原青年会議所2005年度理事長
	松村みち子	タウンクリエイター代表
	谷神久雄	市議会議員
	渡部 胖	西湘地区行政センター所長

おだわらの

「再生と創造」に取り組めます

おだわらルネッサンス推進本部の設置

企画政策課 ☎33-1253

市長の政策実現宣言である「マニフェスト」の着実な推進と、部局横断的に仕事を進めていく組織づくりの試みとして、市長を本部長、両助役を副本部長とする「おだわらルネッサンス推進本部」を設置

しました。
小田原の持つ歴史・文化や自然環境といった財産と新しい価値を融合させ、新たな都市の魅力をつくりあげるため、推進本部の下に8本のプロジェクトを立ち上げました。

従来の組織を超えた部局横断的な推進体制として、各プロジェクトには責任者となる専任のマネージャー（7人）を置き、庁内公募により任命した24人の若手職員とともに、独立した立場から自由な発想で事業推進計画の策定や事業推進に取り組みます。

また、外部評価委員会を設け、成果責任も明らかにしていきます。

- ①雇用定住促進
- ②活性化
- ③都市の顔づくり
- ④人に優しいまちづくり
- ⑤世界城下町サミット
- ⑥キャンパスシティ構想
- ⑦ふるさとの原風景再生
- ⑧小さな核市街地づくり

辞令交付風景



行革ニュース第6回

おだわらの魅力と価値は
お城のほかにもたくさんあります

市では、小田原駅周辺をはじめとした、商店街の再生を重要課題の一つとして取り組んでいます。

●行政経営室 ☎331305

小田原駅周辺は大きく変化しています

今年1月に実施した市民満足度重要度調査では、「商工業の振興」に対する市民の満足度は、ほかの事業分野に比べて低く、今後の取り組みの重要度はやや高いという結果でした。

また、「小田原駅周辺を活性化してほしい」「中小企業や商店街への対策をしてほしい」「地場産業の振興が必要だ」といった意見もいただきました。

市は、小田原駅周辺の中心市街地の活性化を重要課題として、平成14年9月、市長を中心とする「中心市街地活性化推進本部」を設置し、自由通路整備をはじめとして、のべ154事業に事業費総額約91億円を投入し、賑わいの創出に積極的に取り組んできました。

「空き店舗」率 1.1%

小田原駅周辺の21商店街の空き店舗の状況を把握するため、実態調査を行いました。16年3月時点で、この地区の、通りに面した1階部分には、オフィス・店舗や駐車場などが1,324件あります。その中で、46件が非営業の状態になっていまし

た。このうち、賃貸などにより店舗を続ける意思がある「空き店舗」は14件、全体の1.1%でした。この数値と商店街の見た目の違いについて検討し、空き店舗対策を進めていきます。

市民と力をあわせて「小さな核市街地」づくりを進めます

民事再生手続をとり、市が出資している「アミーおだちか」は、再生1年目から黒字決算となり、中心市街地の核施設としての役割を担っています。

また、リサイクルショップ「えこつと」や、「女性プラザ」など、市が主導で空き店舗活用に積極的に取り組むとともに、高校性が営業しているチャレンジショップ「ジェストーレおだわら」への支援など、起業意欲のあるかたへの支援も行っています。今後も、さらなる活性化のために、まちづくりの主役である市民団体や商業者をはじめとする市民の皆さんとの協働を積極的に進めます。

また、市内各駅と商店街の個性を生かし、コンパクトな都市機能を整備する「小さな核市街地」づくりを進め、市全域の商店街の再生を目指します。

10月1日から
小児医療費助成制度が
4歳まで拡大!!

●保険課 ☎331843

小児医療費助成制度が、10月1日より従来の4歳未満児から5歳未満児にまで拡大になりました。

この制度は、所得基準額未満のお子さんについて（0歳児は制限なし）保険診療の自己負担分を助成するものです。

具体的な申請方法などは次のとおりです。

① 3歳の医療証をお持ちのかたで、所得額が基準額未満のかた（※）
② すでに4歳のかた..すでに医療証をお送りしてあります。

③ これから4歳になるかた..4歳の誕生月の月末に医療証をお送りします。

④ 3歳の医療証をお持ちでないかたで、所得額が基準額未満であると思われるかた
市役所、支所、連絡所、マロニエ住民窓口で医療証の申請を行ってください。

※転入などで所得額が確認できない場合には別途こちらからお問い合わせします。

所得基準額

扶養人数	所得基準額
0人	460万円
1人	498万円
2人	536万円

以後1人増すごとに38万円を加算する。

※所得額...給与所得控除後の給与などの所得の合計から、定額(8万円)・老人扶養(1人あたり6万円)・医療費・特別寡婦(35万円)などを控除した額。

年齢ごとの助成範囲

年齢	所得基準額未満		所得基準額以上	
	通院	入院	通院	入院
0歳	○	○	○	○
1～4歳	○	○	×	×
5歳～中学校卒業	×	△	×	×

○...小田原市発行の①の医療証を保険証といっしょに医療機関の窓口で提示すれば、保険診療分の医療費はかかりません(県内のみ、県外は△と同じ)。

△...いったん医療機関の窓口で自己負担分をお支払いいただいたあと、市の窓口で医療費の支給申請書をお出しいただきます。医療費の支給は口座振替になります。

×...小児医療費助成制度の対象外です。

生きがいづくりと健康づくりを 応援します

「ふれあいけんこうフェスティバル」

問 高齢介護課 ☎ 331841 健康づくり課 ☎ 470820



ふれあいけんこうフェスティバルは、今年もイベントが盛りだくさん。健康チェックで自分の体を知るもよし、作品展や体験コーナーで新たな楽しみを見つけるもよし。お年寄りもお子さんも楽しめる2日間です。ぜひお揃いでお出かけください。

日時 10月16日(土)・17日(日)
10時～16時

場所 生きがいふれあいセンターいそしぎ・保健センター内

●16日(土)

親子で楽しむタッチケア(親子体操、事前申込)、足型判定、血圧・体脂肪測定、生活体力測定、軽体操、バドミントン、卓球、お茶会、キャラクターショーなど

●17日(日)

健康・歯・薬の相談コーナー、血糖測定と糖尿病相談、整形外科医医療相談、簡易骨密度測定、精神保健福祉講演会(事前申込)、みんなで楽しむ日本の遊び(三世代交流)、作って遊ぶ(子供の簡単工作)、陶器のチャリティーバザー、短歌大会、囲碁教室、模擬店など

●両日

シルバー作品展(絵画、木彫、書道、陶芸、手芸など)、ステージ発表(音楽、詩吟、舞踊、謡曲、手品など)、将棋教室、シルバー人材センター作業実演、リサイクル品チャリティー販売会、保健活動団体などの紹介、鍼灸マッサージ、ポップコーン・綿菓子無料配布など

※駐車台数に限りがあります。なるべく公共交通機関をご利用ください。
※募集イベントについては、広報おだわらいの9月15日号をご覧ください。

おだわらインフォメーション

Odawara Infomation

「世界」を身近に! 「地球市民ふれあいウィーク」

問 市民交流課 ☎ 331703

西さがみ連邦共和国(小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町)では、国際交流事業「地球市民ふれあいウィーク」を行います。

これは、アメリカのNPO法人「Up with People」が主催するリーダーシッププログラムにより来日する、世界各国の青年に、「西さがみ」の魅力を紹介し、さまざまな交流活動を行なおうというものです。活動中は、ホストファミリーのお宅にホームステイをします。



“See you soon”

日時 10月18日(月)～25日(月)

訪れるかた 17歳から29歳までの青年です。アメリカ出身が一番多いのですが、ヨーロッパや、中南米、アジア、アフリカなど、さまざまなエリアの26カ国から、84人がやってきます。

交流活動 活動は、グループに分かれて、いろいろな場所で行われます。大きな柱は、子ども達との交流です。幼稚園から大学まで、さまざまな世代の子ども達と交流を図ります。母国の話を聞いたり、一緒にゲームをしたり、楽しい授業が行われる予定です。

そのほか、福祉施設や、昔ながらの店構えが残る商店街を訪問したり、共和国内の名所・旧跡も見学します。

●オープンイベント

「One 2 one」世界はひとつ

歌ありトークありの「ふれあい」を大切にしたステージです。ぜひお越しください。

① 10月20日(火) 13時～14時

ダイナシティウエスト(ロビンソン百貨店) 1階

キャニオンステージ

② 10月21日(水) 12時20分～12時50分

市役所2階ロビー

青少年友好交流都市公式訪問

マンリーのの人々

文 小澤良明

八月初旬、数年ぶりにオーストラリア・マンリー市を公式訪問した。大野市議会議長と共に三泊五日の強行軍であった。

マンリー市と本市の中・高校生数十名ずつが毎年相互交流する『ときめき国際学校』事業も今夏で十四年目、本市の参加生徒だけでも延五四六人にもなる。この成果の陰には本市実行委員会の皆さんやボランティア、ホームステイの引受けご家族の方々等の大変なご協力があったことである。

多忙の中、訪豪に踏み切ったのに、は幾つかの理由がある。

一つは市長の交代があり、本事業に対するマンリー市の対応を見極めたいということであった。市庁舎で初めてお会いしたピーター・マクドナルド新市長は、あの有名な「国境なき医師団」にも参加した少壮医師という。かつて市議を務められた時には、国際交流事業には余り関心を示されなかった、という未確認情報もあって、私としてはこの「ときめき」をどう考えているのか少々不安な思いもあった。しかし、本市との長い交流を今後も大切にすると、というごあいさつを直かに聞き、またオダワラ・クロスで記念植樹を共にし

ながら、彼の誠実そうな人柄にも触れて、今回の訪豪の目的の過半はこれで達した、とまずはひと安心であった。

二つには、あちらが大変気に入って、永住を決めていられるドクター・井上と旧交を温めることであった。所有の広大な牧場を、本市『中高年リフレッシュステイ事業』の派遣研修生のフィールドとして心良く使わせていただいた。事情により現在は中断しているが、大歓迎の上ご自身で運転されて井上牧場まで案内してくれた。和牛も入れて百五十頭もの牛を飼育されているという。子供のように目を輝かせながら、和牛とかけ合わせて美味しい肉をつくるんだ、今度来る時には一緒に食べよう、



マンリー(オダワラ・クロス)で記念植樹をする大野議長、尾崎ときめき国際学校実行委員会会長、小澤市長、ピーター・マクドナルド市長(左から)

と嬉しそうに笑っていられた。

三つには地元政界の大立者で、マンリー側の受け皿、親善委員会の大黒柱、ジョアン・ソーバン女史にお会いすることだった。悪性の感冒にかかって入院されたとのことであったが、どうしても私に会うと言われた、無理矢理退院し美容院にまで行かれたとのこと、僅か三十分ほどであったが面談できた。ご高齢にもかかわらず、相変わらず迫力満点の力強い表情で、近い内に本市を訪問する、と言われ、これなら健康は大丈夫、とほつとした。

選挙には敗れたが相変わらず意気軒昂の前市長ジーン・ヘイ夫妻、マンリー市部長ジム・ハンター、生徒達を連れて何回か本市を訪問された校長のロス夫妻や市警察のアラン、今年の引率責任者で私達の運転手役やら歓迎のホームパーティーを主催してくれたオブライアン一家、毎年きめ細かに本市生徒達の世話をしていただいているソーバン女史の息子のマルコム、日系のタツコ・ライアン、岸和田市出身の三森すみ代さん等々、多くの親善委員会幹部の皆さん。

旧知の面々、新しくお目にかかれた方々、久しぶりのマンリーの人々や風光は、限りなく懐かしく圧倒的に優しかった。長い蓄積のもと、両市の絆が本物になっているという確信をマンリーの皆さんとも共有しあえた事がこの公式訪問の最大のおみやげだった。

総務大臣と
特例市市長との
懇談会を開催

企画政策課 331253

9月2日(木)、小

澤市長が会長を務める全国特例市連絡協議会は、総務大臣との懇談会を開きました。麻生



麻生総務大臣(左)と小澤市長

総務大臣ほか総務省幹部と全国の特例市市長が一堂に会し、三位一体の改革、地方交付税制度のあり方、広域連携と道州制についてなど、さらなる地方分権の推進に向け、活発に意見交換を行いました。

懇談会後に開かれた総会では、「地方分権の推進に関する要望書」と「三位一体の改革についての緊急意見」を採択。国から地方への税源移譲などによる地方税財政基盤の確立と、地方自治体へのさらなる事務事業の移譲やさまざまな関与の廃止、縮減について要望するとともに、8月に地方六団体が小泉内閣総理大臣に提出した「国庫補助負担金等に関する改革案」をふまえ、真の地方自治の確立に向けた三位一体の改革の早期実現を要請することにしました。

そして総会終了後、全国の特例市40市を代表して、この要望書と緊急意見書を、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣をはじめとする国などの関係機関に提出しました。

地方分権型社会を実現するために、今後とも力を尽くします。

少人数学級編制実施校と1年生1学級の平均児童数

(平成16年5月現在)

学校名	実施前(学級数)	→	実施後(学級数)
芦子小	37.3人(3)	→	28人(4)
早川小	38人(1)	→	19人(2)
下府中小	36人(2)	→	24人(3)
下曾我小	36人(1)	→	18人(2)
国府津小	39人(3)	→	29.3人(4)
富士見小	36人(4)	→	28.8人(5)
報徳小	39人(1)	→	19.5人(2)
下中小	38人(2)	→	25.3人(3)

※市内1年生の1学級の平均児童数は、27.5人です。



下中小学校1年生の教室風景

ゆつたりとした教室で、 のびのびと学習・生活

小学校1年生で 実質的な全クラス「30人学級化」を実現！

問 学校教育課 ☎ 331684

市では、小学校1年生が学校生活を送るための基本的な生活習慣の確立と基礎基本の徹底による学力の定着を図るため、すべての学級の児童数を一律に35人以下にする少人数学級編制を県下の他市に先駆けて行いました。

少人数学級編制実施校の報告から、学習面でのメリットとして

- 一人ひとりの児童の学習をじっくりとみることができる
- ゆつたりとした教室空間で、落ち着いて学習ができる
- 一人一人の発言が多く取り上げられ、児童が満足感をもつことができる
- 生活面でのメリットとして
- 教師の目が行き届き、学級全体が落ち着いた雰囲気になる
- 入学当初、基本的な生活習慣を身につける際に、きめ細かく関わることで、学校生活のスタートがスムーズにできる
- 子ども同士が名前を覚えるのが早く、学級集団に親しみを持つことができる

などの報告がされています。さらに、保護者のかたからも、子どもたちが落ち着いた雰囲気の中で生活している姿を多く見かけるとか、子どもと先生との関わりが増しているといった意見をいただいております。

また、少人数学級編制実施校においては、さらに、従来から実施している少人数指導やチームティーチング(TTI)を継続することが可能となるように、市費の臨時職員を雇用しています。

なお、市では、小学校1年生の30人を超え35人以下の学級をもつ学校に、子どもたちの生活面・学習面の支援を行うスタディ・サポート・スタッフの派遣も行っています。

これにより、小学校1年生の実質的な全クラス30人学級化を実現しました。今後、市として、義務教育の一番始めの入り口である小学校1年生の段階を大切にして、きめ細かな教育の実現、保護者のかたが安心できる学校づくりを目指して取り組んでいく予定です。

施設予約システムのID登録を受け付け中です！

「マロニー・尊徳記念館」

問 IT推進課 ☎ 331264

11月からインターネットでもマロニーと尊徳記念館の一部の予約受付が可能になる予定です。

これに伴い、上記施設の利用申し込みをされるすべてのかたは、ID登録が必要となります。現在、各施設の窓口で受け付けています。



小田原城跡の馬出門復元作業における樹木の伐採について

問 文化財保護課 ☎ 331264

市では国指定史跡となっている小田原城跡の馬出門復元に向けた作業を進めています。その一環として8月から9月にかけて実施した発掘調査において、石垣や門跡を調べる必要上、樹木を伐採しなければならぬ箇所ができてしまいました。移植も検討いたしましたが、根周りを掘り起こすために史跡を大きく傷めてしまうことから、やむを得ず伐採させていただいたものです。

今後も史跡と緑の共存につき努力してまいりたいと考えております。



▲昨年のようなす



▲アニメーションビデオ「二宮金次郎」のワンシーンより柴刈り帰りの金次郎少年

第47回 尊徳祭

二宮尊徳の遺徳を偲び、偉業を顕彰する

問 尊徳記念館 ☎36-2381

尊徳祭は、二宮尊徳没後100年事業のひとつとして昭和30年10月に第1回が開催され、今年で47回目を迎えます。地元である桜井地区自治会連合会をはじめ、各種団体や市民の皆さんの参加による手作りのイベントとして、親しまれています。

今年もこれまでの内容に加え、新たな催しとして「少林寺拳法・演武披露」も加わり、より皆さんに親しんでいたいただける内容となりました。

また、今年は尊徳祭にあわせて開催する「おだわら市民大学報徳塾公開講座・尊徳講演会」では、大日本報徳社専務理事の青野英也さんをお迎えし「二宮

尊徳に学ぶー今まで、そして、これからー」と題して講演を行います。

ぜひこの機会に、二宮尊徳の生涯を知り、教えに親しんでください。
※尊徳祭開催期間中は、展示室を無料で御覧いただけます。

●10月16日(土)12時25分～16時

○ロビーコンサート○開会式○尊徳講演会○相模人形芝居「下中座」 演出 鎌倉三代記 三浦別れの段

●10月17日(日)10時～15時30分

○二宮金次郎柴刈りウォーク○報徳市(農産物直売など)○ほほえみ演芸

展示コーナー

会○少林寺拳法演武披露○和太鼓演奏○ロビーコンサート○演芸会(民謡と踊り・田植歌・吟詠・吹奏楽・歌謡曲)○手作りおもちゃコーナー(竹細工・紙細工/小学1年生以上・60人まで)○抹茶サービス○アニメーションビデオ「二宮金次郎」上映(13時～15時)

○水墨画展示○書道展示○二宮尊徳学習事業成果展示○二宮尊徳関係未展示資料特別展示

二宮尊徳先生を偲ぶ集い

二宮金次郎柴刈りウォーク「矢佐芝山から一万歩」

二宮金次郎(尊徳)が柴刈りに通った矢佐芝山(南足柄市)から生家までを歩き、少年金次郎を偲びます。

日時 10月17日(日)

大雄山線塚原駅8:00分集合

※塚原駅からハイキングをし、矢佐芝山で地元自治会のかたと合流して尊徳生家まで歩きます。

※塚原駅～矢佐芝公民館約3km/矢佐芝～尊徳生家約7km

※参加者全員に、尊徳関係遺跡「油菜栽培地跡」周辺で栽培した「油菜の種」をプレゼントいたします。

申込 直接または電話で(50人・先着順)

※この行事は、南足柄市矢佐芝自治会との共催で行います。



二宮尊徳関係未展示資料特別展示

尊徳記念館で収蔵する二宮尊徳関係資料のうち、普段は展示室などで一般に公開していない遺品の数々を尊徳祭の開催に合わせ特別展示いたします。今回の展示では県の重要文化財に指定されている資料を中心に展示いたします。

また、遺品のうち特に書状類は長期に保存するため、毎年、虫食いの補紙、しみ抜きなどの修理を順次行っていますが、修理の済んだ資料も展示いたしますので御覧ください。

また、当日は報徳塾OB会の会員がご案内いたします。

日時 10月16日(土)～21日(木)9:00～17:00

場所 尊徳記念館(入場無料)



政策総合研究所通信

●政策総合研究所 電話 33 13 15

―地域助け合いシステム・マル徳 実験開始―

昨年度、100人が参加して実験を行い、人々をつなぎ、助け合いを促す仕組みとしての可能性と課題が明らかになった「徳」。

今年度は、昨年の結果をふまえ、「地域助け合いシステム・マル徳」と装いを新たにしました。人々の小さなつながりを育み、身近な地域や同じような問題意識を持つ人々の助け合いの輪を広げることを試みます。



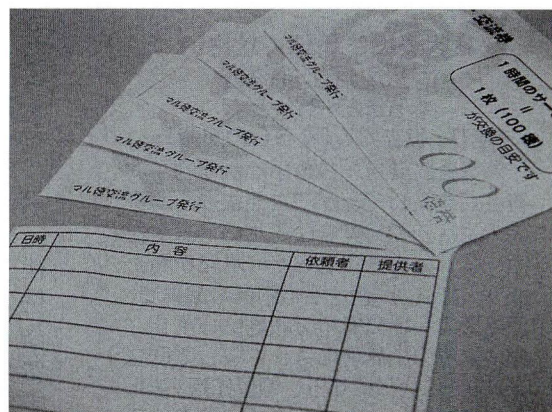
昨年度実験中に行った交流会

小さな単位で取り組みを

「こういうことで人のお役に立ちたい」という思いを「これを頼めたらいいな」という人々を「マル徳交流券」を媒介として助け合いを促す仕組みです。あらかじめ「してほしいこと」「できること」を登録し、参加者同士で頼みあい、支えあっていくものです。

「顔の见えない人に頼むには抵抗がある...」。昨年度の実験で利用者の間で出た声を踏まえて、顔の見える関係づくりと、それを土台にした助け合いを促すことを考えました。

今年度の実験では、身近な地域での助け合いや小さなグループをつくっての助け合いをするための【小さな単位での取り組み】を応援します。マル徳に参加し、交流会などを通して、近所にマル徳仲間が見つかったり、少し遠くで



1回の従事時間に応じて「マル徳交流券」を相手に渡す仕組みにしました。

も気の合う人と知り合いになったら、その仲間でグループを作ってグループ内での利用に特化した助け合いをするのもOKです。もちろん、既にあるグループでの運用も歓迎します。

政策総合研究所の市民研究員を中心に構成する「マル徳交流グループ」が運営事務局となつて、説明会、交流会を頻繁に行つていきます。

あなたの近くに同うかもかもしれません！お気軽にお立ち寄りください。

参加は随時受け付け。市内在住・在勤・在活動中のかたが参加できます。

第一次募集期間 10月15日まで
実験期間 平成17年2月15日(火)まで

※詳しくは、政策総合研究所(市役所4階)、市民活動サポートセンター、マロニエ、各支所・連絡所、図書館などにあるパンフレットをご覧ください。

Eメール

prio@city.odawara.kanagawa.jp

<使い方>

- ①申込書に、氏名・連絡先など基礎情報と「できること」「してほしいこと」を記入します。
- ②助けてもらった相手に感謝の印として渡す「マル徳交流券」と参加者が登録した「できること」「してほしいこと」を一覧にしたリストを受け取ると参加できます。
- ③頼みたいときには、「できること」リストから探して相手に依頼します。
- ④知らない人と連絡を取るのが不安な方は、運営事務局で構成する仲介者(コーディネーター)へ電話します。
- ⑤依頼内容が完了したら相手に「マル徳交流券」を渡します。その際、券の裏に内容などを記入します。

まさか自分が
かわるとは…

こんな勧誘手口
を知っていたら…

あの手この手の 悪質商法



開設から1年半がたった西さがみ連邦共和国消費生活センター。
相談窓口には、平成15年度の1年間に2,562件と多くの消費生活に関する苦情相談が寄せられました。誰もが消費者！消費生活に係る被害に遭わないためには、その傾向・手口を知ることが重要です。最近の消費生活相談の中で、住民の皆さんにぜひ、知っていただきたい事例を紹介します。

●西さがみ連邦共和国消費生活センター ☎ 33 1775

最近の相談事例から

①こんな訪問にご注意！

「水道水の調査をさせていただきます」こんな言葉で台所やお風呂場へ案内したら、水道水をコップに取って薬品を入れ、変色したのを示して「こんなに汚れているんですよ、でもこれを付けければ綺麗になります」そう言って浄水器を取り付ける。



「こんな業者には要注意。その薬品は残留塩素に反応するものかもしれない」
「7年前に契約をした講座の資格が取得されていないので終了となっています。まだ名簿に登録されている状態です。10万円の名簿抹消料を支払わないと登録からはずれませんよ」と電話で説明があった。「支払わないと新たな

②「資格講座の二次被害」にご注意！

「7年前に契約をした講座の資格が取得されていないので終了となっています。まだ名簿に登録されている状態です。10万円の名簿抹消料を支払わないと登録からはずれませんよ」と電話で説明があった。「支払わないと新たな

費用が発生します」と言われて不安になってしまった。実際に7年前に講座を受講し、資格を取っていました。これは、明らかに資格商法の二次被害であり、以前の契約者に対して「資格が取得できるまで契約は終わらない」と過去の契約が継続しているかのように思わせる手口です。この背景には、業者間の名簿の売買など、個人情報流出があると思われます。

～お知らせ～

「商品先物取引」や「外国為替証拠金取引」は非常にリスクの高い取引であり、知識・理解が十分なく、取引の経験がないかたなどにとっては一般的には不向きと思われます。

専門知識や経験がないかたは取引引きを控えた方がよいでしょう。

消費者基本法をご存知ですか？

平成16年6月に消費者基本法が施行されました。この法律は、消費者の憲

法と言われる消費者保護基本法が抜本改正されたもので、次のような基本理念が確立されました。



- 安全が確保される権利
- 自主的かつ合理的な選択の機会が確保される権利
- 必要な情報が提供される権利
- 必要な教育の機会が提供される権利
- 消費者政策に意見が反映される権利
- 適切かつ迅速に被害救済される権利

市はこの基本理念に則り、消費者政策を推進していきます。

※11月に消費者の権利などについての講座を開きます。詳しくは10月15日号の広報でお知らせします。

お気軽にご利用ください 消費生活出前講座

なるほど・なっとく

～学び・役立てる「くらしの知識」～

消費者が安全かつ豊かで合理的な消費生活を営むことができるよう、消費者の生活上の自覚を図るため、日常生活に関するテーマをもとに講座を開きます。講師は消費生活相談員や職員で、ご希望の会場に無料でお伺いします。出前講座の出席者には、くらしに役立つハンドブック「くらしの豆知識」を先着順でお渡しします。まずは消費生活センターへ。

平成16年度

第2回西さがみ連邦共和国 圏域消費者団体・行政連絡会

圏域で活動する消費者団体と行政が連携・協働し、圏域住民の消費生活の安定と向上を図ることを目的に連絡会を開きます。会議は公開します。

日時 10月29日(金)13:30～15:15

場所 中央公民館

内容

○圏域消費者団体と行政との情報交換

○講座「金融商品の落とし穴」

～自分の身は自分で守ろう！～

※お問い合わせは、傍聴希望(申込制)のかたは消費生活センター事務室まで

◀本丸を守る常盤木門(昭和45年復興)

明治と昭和の 小田原城

取り壊される小田原城

幕末の小田原城は相当老朽化していましたが、藩には補修する財政力がありませんでした。新政府に対し廃城の願いを出し小田原城は売り払われ、取り壊されることになりました。

それまでは、町民が入ることができなかった城ですが、取り壊される前は見物を許され、多くの人々が押し寄せたということです。

陸軍省から町へ

明治6年(1873)、小田原城は陸軍省の所管となります。不要な建物は

小田原城 今昔物語

江戸幕府が倒れ、明治時代に入ると小田原城は廃城となり、取り壊されてしまいます。その後の小田原城の変遷をみてみましょう。

問文化財保護課 ☎33-1717

競売にかけられ、残っていた銅門・幸田門などの門や蔵、櫓などほとんどが城内から姿を消していったのです。

明治23年(1890)に、町民の有志が旧藩主の大久保家に依頼して陸軍省に払い下げ嘆願書を提出します。その結果、大久保家に払い下げられ、さらに小田原町が用地を購入し、一部を無償で借り受けました。この時、町は、大久保家を顕彰するために天守の跡地に大久保神社を創建したのです。

御用邸時代

明治26年(1893)、明治天皇の第6皇女常宮内親王・第7皇女周宮内親王が、当時荒久(南町)の海岸にあった伊藤博文の別邸滄浪閣に避寒のため2ヶ月滞在しました。両内親王は小田原の気候・風光を大変気に入られ、旧城内に御用邸を新設することになりました。明治34年に完成し、両内親王は長く滞在されました。完成後まもなく、皇太子(のちの大正天皇)も葉山御用邸から小田原に立ち寄られています。御用邸の設置により小田原の名声は高まり、町は活気に満ちていたそうです。



二の丸にあった御用邸

関東大震災と二の丸堀の保存運動

先月号でも紹介したとおり、関東大震災で小田原城は大きな被害を受けま



保存運動で守られた二の丸堀

す。かろうじて残っていた石垣もほとんどが倒壊し、江戸時代の姿は完全に失われたのです。御用邸も同じように壊滅し、廃止となりました。

震災後の復旧事業の中で、二の丸堀(お堀端通りに面している堀)を埋め立て学校用地にする計画が立てられました。これに対し、町民の有志による反対運動がおき、町を二分する大問題となりました。結果は、二の丸堀は残され、城内に学校が建設されました。

天守閣・常盤木門

昭和35年に市制20周年事業として、市民の長年の願いであった天守閣が再建されました。明治時代初期に取り壊されてから約90年後、小田原のシンボルがよみがえったのです。総工費は約8千万円、1年3ヶ月をかけて完成しています。

続いて、市制30周年の昭和45年には、本丸の入口として威厳のある景観を見せる常盤木門が建てられました。

あなたのお宅にも、まだ知られていない「一枚の古い写真」が残されているかもしれません。

少しでもお城が写っていれば、それは大変貴重な資料となります。もし、そのような写真がありましたら、ぜひお知らせください。

小田原木製品 千年の歴史を感じてください

小田原・箱根木製品フェア2004

日時 10月22日(金)～24日(日) 10時～17時
場所 小田原アリーナ



小田原地域の木製品産業振興のため「技術向上」、「販路拡大」、「情報発信」をテーマとして、箱根物産千年物語の展示・実演をはじめ、「全国木クラフトコンペ入選作品」の展示、「名物木工屋さん50店」開設、木工玩具ふれあい広場など各種イベントを開催します。

問 小田原・箱根木製品フェア2004実行委員会
☎ 325252



実行委員長の戸谷光成さんに
今回の木製品フェアについて
関東学院大学3年、本田雅美さんが
見所を伺いました。



このイベントは、全国に向けて小田原の木製品の良さを伝えるために行っています。
3回目の今年は「箱根物産千年物

語」と題して、小田原地域の木製品の歴史を年代でおったパネル展示や、古式ろくろの実演を行うとともに、高価なものと思われがちな木製品を格安で提

① 箱根物産千年物語

千余年の歴史を持つこの地域の木製品の歴史を、パネルなどで展示するとともに、特設ステージでは、史実に基づいて再現された「古式ろくろ」をはじめとする各種実演などを行います。

② 全国木のクラフトコンペ入選作展示

470点を超える入選作品を展示いたします。

③ 名物木工屋さん50店の出店

小田原箱根地方の木工業者50社が仮想商店街をつくりまします。木製品の製作、実演を見ながら買物ができます。

④ 木工玩具ふれあい広場

木製品の製作体験や昔懐かしい木のおもちゃで遊べるコーナーです。

○ 大抽選会(毎日随時受付)

来場者はアンケートに回答していただくと抽選で景品を贈呈します(空くじなし)。

※シャトルバス運行(無料)・小田原駅西口から小田原アリーナまで30分毎

供する「名物木工屋さん50店」や、来場者が参加できる体験コーナーなどもあります。

このイベントのメインの1つ「全国木のクラフトコンペ」も、「森に聴く」というテーマで作品を募集し、全国各地の幅広い世代の方から470点を超える応募があり作品のレベルは、回を重ねるごとに上がっているように感じ見応えがありますよ。

身近に漆器を 感じてみよう

伝統小田原漆器特別展

日時 10月9日(土)～11日(日)
各日とも10時から17時まで
場所 小田原地下街

問 伝統小田原漆器協同組合
産業政策課
☎ 325252
☎ 331515

小田原漆器は、生活に密着した漆器としてつくられています。かたくて丈夫なけやきをその原材料として使い、鮮やかな木目の美しさとともに、何度も何度も漆を塗り重ねることにより、長持ちします。

また、漆で塗られた器は、使えば使うほど手になじみ、味わいもでてきます。

今回は、小田原の名工がつくりあげた作品を展示するとともに、普段はなかなか見る機会のない伝統工芸士による漆塗りの実演を見ることができまします。
また、漆器を身近に感じてもらうため、朱の漆の器に黒漆の模様を描き出す漆器の研ぎ出し体験もできます。



体験は、材料費として1,500円程度(参加受付は、当日現地にて受け付けます。体験で作成した漆器は持ち帰りできます)。



あなたはどの おでん!?



【第2回「小田原おでん祭り」】

問 小田原おでん会事務局 ☎22-4068

小 田原に古くからある各種の地場産品を、水産練り製品を中心に小田原の新たな食のブランドとして育てていこうと、「小田原おでん会」が発足いたしました。

今回、発足1周年を記念して、第2回「小田原おでん祭り」を開きます。
日時 10月16日(土)・17日(日)11時～17時
場所 なりわい交流館(本町36-23)

☎20515

①各種おでんの販売

小田原おでんのダシといえば、鰹味に薄口醤油が定番ですが、昨年のおでん料理コンテストに入賞した作品のように、誰もがへえと驚くようなすばらしいアイデアと、もちろん味付けもばっちりのおいしいおでんを、今年もつくりたいと考えています。作品については、ご来場いただくまでのお楽しみです。

②おでん具材の即売

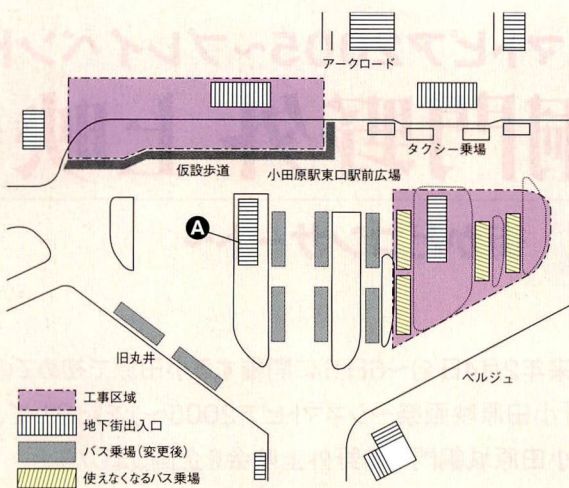
小田原おでんの素材となる練製品、こんにゃく、野菜、味噌などの地場産品を特別価格で即売します。特に練製品については、季節限定商品の販売も行います。

③小田原市内のおでん祭り協賛店

小田原おでん会事務局までお問い合わせください(9時～16時)。

小田原おでんファン投票

小田原おでん会として1年間、さまざまな取り組みを行ってきましたが、ここで、「小田原おでん」の定番を決定するため、アンケート調査を行います。
各種おでんを試食いただいた後、調査にご協力ください。



生まれ変わる 小田原の顔

【小田原駅東口駅前広場の工事情報】

問 広域交流拠点整備課 ☎33-1656
道路補修課 ☎33-1646

今 月中旬から東口のペDESTロリアンデッキや地下への公共交通路など整備工事が始まります。

工事中のバス乗場は広場中央に6カ所旧丸井前に2カ所となります。平成18年3月まで、バス乗場などは工事区域に合わせ動いていきます。

また、工事区域内になる駅正面お城側の地下街出入口1カ所と、地下街からバス乗場への階段1カ所が使用できなくなります。

広場中央のバスをご利用のかたは、地下街から図のAの階段を上がり、ご乗車ください。方面別バス乗場などの詳細は、アークロード、東口広場、地下街に掲示します。

歩道が狭くなったたり、遠回りになるなど、ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

一匹の盲導犬がくれた 限りない愛と信頼の物語「クイール」上映

上映作品は、実在したラブラドル・レトリバーの盲導犬「クイール」の生涯を描いた優しさと愛に満ちた物語。盲導犬として生きる毎日の中で、クイールが経験したさまざまな出会いと別れ。クイールは出会った人たちに尽きることのない無償の愛と信頼という贈り物をそっと差し出します。

原作「盲導犬クイールの一生」(文藝春秋刊)は、世代を超えた幅広い層に支持されて70万部を突破。映画に先立って放送されたNHKのドラマでは、大部分を小田原でロケを行い、話題となりました。

監督は、数々の映画賞に輝いた日本映画界の鬼才・崔洋一。映画でしか描けないクイールの物語をスクリーンいっぱいに見せてくれます。



ある朝、一匹の子犬が
生まれました。
たくさん愛に包まれて、
クイールは盲導犬になりました。

クイール

崔洋一監督作品
小林 薫 椎名桔平
黒田明之 戸田恵子 今野 浩二 高杉 早苗 長瀬 智子
原作「盲導犬クイールの一生」(文藝春秋刊) 脚本 尾形十三雄 監督 崔洋一
www.quill.jp

2004年春、一匹の犬が日本中に涙と幸せを届けます。
3/13(土)全国ロードショー

これは今年3月に公開した映画のチラシです



小田原映画祭～シネマトピア2005～プレイベント 小田原城銅門野外上映会

～同時開催 街かどコンサート～

日時 10月23日(土)
15:00～20:00ころ
「クイール」上映は18:00～20:00

※雨天の場合は翌日24日(日)に順延。24日が雨天の場合には、スポーツ会館で行います。

来年2月4日(金)～6日(日)に開催する小田原で初めての映画祭「小田原映画祭～シネマトピア2005～」を記念して、小田原城銅門での野外上映会を企画しました！
星空のもと、小田原城をバックに、
限りない愛と感動の名作をご家族一緒にお楽しみください。
銅門広場では15:00から
屋台と街かどコンサートでイベントを盛り上げます。

問 小田原映画祭実行委員会(広報広聴室内) ☎33-1261

スケジュール 17:30 銅門前広場開場 18:00～20:00 映画上映(事前申込制)

※銅門前広場では街かどコンサート(観覧自由)をお楽しみいただけます。

場所 小田原城銅門前広場 **映画観覧募集人数** 300人・多数抽選
申込 10月15日(金)まで(当日必着)に、往復はがきに住所・名前・電話番号・映画観覧希望人数を書いて郵送。

〒250-8555 小田原市広報広聴室内小田原映画祭実行委員会事務局

「小田原城銅門野外上映会観覧希望」係

※1枚のはがきで4人まで入場できます(1歳以上は1人とみなさせていただきます)。

主催 小田原市・小田原映画祭実行委員会

